

## 【モデルツアーの目的等】

■複数地域の取組をパッケージ化して対外的に発信するプロモーション方策の一つとして、舟運等の水陸のインフラを活用した誘客プログラムを想定し、その有効性や課題を検証する。

## 【参加者】:53名

■はなやか関西関係者(有識者委員会委員、準備会構成機関)  
■今後協働が期待される有識者ならびに民間事業者等(旅行代理店、茶業関係者、交通事業者等)

## 【日時】平成22年12月6日(月)

### ■オプションプログラム

〈堺・南宗寺プログラム〉 午前10時00～午前11時45分

堺観光コンベンション協会 岩井参事による南宗寺見学 等

〈アフターコンベンションプログラム〉 午前10時50分～午前11時45分

大阪国際会議場、一本松海運等からの発表 等

### ■メインプログラム

〈舟運体験〉 午前11時45～午後2時30分

語り部による案内、京都宇治和束茶・京都嵯峨芸術大学・枚方市プレゼンテーション 等

〈市立枚方宿 鍵屋資料館〉 午後2時40分～午後3時40分

学芸員による解説、月桂冠元副社長栗山氏講演、和束茶の振る舞い・お茶菓子 等

〈京都伏見十石舟乗船・まちなか散策〉 午後4時25分～午後5時10分

十石舟乗船、伏見・街なか散策 等



南宗寺見学



大阪国際会議場による挨拶



メインプログラム舟運体験



十石舟乗船



和束茶の振る舞い



鍵屋での栗山氏の講演



枚方市による発表



嵯峨芸術大学の学生による発表

## はなやか関西～文化首都年 モデルツアーについて

### 【モデルツアーに対する評価】

モデルツアー参加者の**83.8%**が今回のモデルツアーのルートが、関西の本物の文化を発信するルートとして有効と回答

### 【モデルツアーの検証(総括)】

- テーマによって複数地域の取組をパッケージ化するツアーは、関西の「本物」「文化首都」を訴求する手段として有効である。
- また、特定の一つのテーマを核に、複数のテーマを関連付けることでツアーの魅力が高まる。
- 一方で、今後はなやか関西～文化首都年の事業において**複数地域の取組をパッケージ化するツアーを実施する際の留意点も浮かび上がった。**

- 今回のモデルツアーの企画内容そのままでは、**採算が取りにくい(旅行代理業)**

⇒民間事業としての事業性が確保できるツアー(プログラム・ルート等)を旅行代理店等とともに開発していく必要がある。

またプログラムの充実に向け、各地域の参画によって、事業者との相互協力を促進することも必要である。

- 日帰りツアーの場合、一度にパッケージ化できる取組の数には限りがあるため、関西の「本物」の集積を十分にPRしきれない

⇒ルート化されていない他地域の取組の情報発信や出張講座的なプログラム提供など、**関西広域での情報連携・取組連携が必要**である。また日帰りツアーのパッケージを複数ずつ、各エリアで開発していくことも必要である。

- 日帰りツアーで複数の地域を回る場合、一箇所にかけられる時間が限られ、個々の取組の「本物」に十分に触れることができない

⇒「本物」に関する情報や知識をツアーの前に予め提供するなど、**個々の取組に対するより深い体験を提供できる仕掛けや演出が必要**である。

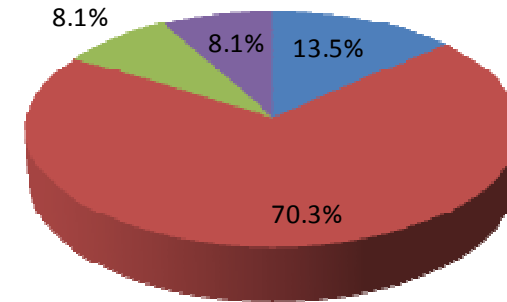
- 内容が盛りだくさんになればなるほど、何を訴求したいのかが分かりにくくなる

⇒**特定のテーマを核にしなが**ら、関連付ける他のテーマとの関係性を明確にした、ストーリーのあるメニュー作りが必要である。

\* 今回のモデルツアーは、「日帰り」で、交通インフラが充実している「都市圏でのパッケージ」で実施した。

「滞在型」や、「地方を含むパッケージ」「地方圏でのパッケージ」については改めて検証が必要になる。

関西の本物の文化(文化首都)を発信するためのモデルルートとして、今回のルートは、有効と思うか。(N=37)



- 非常に有効と思う
- 有効と思う
- あまり有効と思わない
- 分からない